

アメリカ・エヴァーグリーン大学からのレポート

教育文化学部 中学校教育課程・英語専攻 3年次 (氏名 小池 裕也)

○留学先:アメリカ・エヴァーグリーン州立大学

○留学期間:2015年9月～2016年6月(Fall9月～12月、Winter1月～3月、Spring4月～6月)

○生活費:

渡航費:20万円

寮:合計29万円

食費:月3万円

○寮の環境:

ルームメイトは自分を含め4人または6人で、一人一部屋自分の部屋と共有スペースがあります。

部屋:机、イス、ダンス、引き出し、ベッド(マットレス付)、ハンガーかけ、棚

共有スペース:キッチン(オープン付)、冷蔵庫、リビングにソファ・テーブル・イス、トイレ、お風呂(バスタブ付)

※トイレとお風呂は別。シャワー・トイレは問題なく使える。電子レンジはないので、自分で買うか、ルームメイトが持っていたら借りることになる。しかし、寮の近くにHCCという売店やランドリーがある場所があり、そこに電子レンジがあるのでそれを使うことも可能。洗濯もここで行う(洗濯・乾燥で\$2.25)。

寮の環境は特に問題はないと思う。

○大学のサポート状況:

留学生のお世話をしてくれる事務所の方々は相談したときなどは親身になって相談に乗ってくれます。何かトラブルがあれば、すぐに対応してくれます。例えば、大学に収めるお金の額が違う、どの授業をとればよいのか、などなど様々なことに相談に乗ってくれます。

寮でのトラブル(エアコンが壊れた等)の対応は、RADと呼ばれる学生組織があり、その方たちがすぐに対応してくれます。私の部屋のエアコンが壊れたときも、連絡したその日に駆けつけてくれました。

○授業の様子:

授業は、宮崎大学の授業とは全くといっていいほど異なります。授業までに予習(大体がリーディング課題)をし、そのことに関しての講義を午前中に受け、午後からディスカッションをします。その他には、様々なワークショップが行われます。例えば、フィールドトリップに行ったり、マスクを作ったりと楽しいものばかりです。しかし、先述したとおり、予習課題があります。この課題は正直なところとてもきついです。週によって量は異なりますが、平均100p～200pの量を読みます。そして、私が受講していた授業はテストが無く、2つのエッセイを書くことが求められました。そして、この大学にはEvaluation Weekという週が学期の最後の週にあり、そのときに授業の先生と面談をし、評価をつけてもらいます。

○他の留学生たちの様子:

中国、韓国、スイス、ドイツ、メキシコから来ていました。彼らの英語力は非常に高いです。彼らのほとんどが以前にもアメリカに住んでいた、アメリカの大学に通っていたりという経験を持っているため、英語力は高いです。私は、彼らと授業が違うため、ほとんど関わりがないです。

～宮大生のための交換留学～

○現地学生との交流:

現地の学生は非常に優しいです。何かイベント事があれば、誘ってくれたりしてくれます。私はアジア系の授業を取っているため、アジアに関して興味が高く、日本にも興味があるひが多いため、積極的に話しかけてくれます。クラスにも中のいい人がたくさんでき、困っていたりすると助けてくれます。授業によっては、授業以外ではほとんど関わりがないということも生じるみたいです。

○街の様子:

15分ごとにダウンタウンに行くバスが出ています。ダウンタウンまでは、約25分ぐらいです。買い物などは、ダウンタウンに行かなくても、ダウンタウンに行く途中で下車すればショッピングセンターなどがありますので、そこで済ますことができます。バスで約15分ぐらいです。

○その他:

オリンピアのバスに乗るときは、エヴァーグリーン大学の学生証を見せれば無料で乗ることが出来ます。

シアトルへは、バスで約3時間かかります。このバスでは、学生証が有効ではないので、\$3.5～6.5です。

日本のアニメ、漫画は自分が想像していたよりも本当に人気なので、現地の学生と仲良くなる一つの手段として今流行りの漫画やアニメを見ることをお勧めします。

